

始筆

No.1
令和 4年 6月 29日
京都市小学校書写教育研究会

今年度も、京都市小学校書写教育研究会から書写の学習で使える実践例や展覧会関係について紹介します。機関紙「始筆」をヒントにして、児童の日常に生かす『書字力』をいっしょに育てていただけたらと思います。よろしくお願ひします。

今回の「始筆」では、左記の三点についてお伝えします。

①京都市児童硬筆書写作品展について

(硬筆学習指導の観点と評価)

- ② 書写指導 × ICT・シンキングツール
- ③ 書写指導 ちよこつと支援



①【京都市児童硬筆書写作品展について】

「京都市児童硬筆書写作品展」の要項を六月三日に各校に配布しました。ご覧いただき、取組を始めておられますでしょうか。ぜひ、京都市小学校書写教育研究会のホームページ内「硬筆学習指導のポイント動画」も参考にしてください。その動画では、指導の観点や評価の仕方を分かりやすく解説しています。

《一年生》ひらがなの学習

字形、点画の終わり(終筆)のとめやはね

《二年生》カタカナの学習

画の方向(ソンの二画目、シツの三画目)、

画の書き方(ヒの一画目など)

《三年生》文字の大きさ、行の中心

《四・五・六年生》文字の大きさ・中心、配列

- ・漢字を大きめ、ひらがなは小さめに書く。
- ・一文字の一文字の文字の中心を意識して書く。
- ・行の中心を確かめる。
- ・接筆(「口」「ロ」という漢字の場合::一画目が三画目よりも下方向に出る、二画目のための部分より三画目の横画が出るなど)
- ・字形(「な」の場合::三画目が、一画目の横画よりも低い位置に書かれているなど)



教職員研修支援 SMART PORTAL ↓ 京都市総合教育センター

↓ 教育研究団体 ↓ 小学校 ↓ 京都市小学校書写教育研究会

<https://skc-cms.edu.city.kyoto.jp/sogokyoiku/>

※本ホームページ内には、他にも、硬筆学習指導で有効な道具等も紹介しています。

②【書写指導 × ICT・シンキングツール】

全日本書写書道研究会第六十一回全国大会(神奈川県)中学年部会で「ICTとシンキングツールを効果的に用いた書写の学習指導」の研究が発表されました。普段の毛筆学習に、京都市の児童も利用しているタブレット端末を使って進めることができる指導方法が紹介されていました。

【文字の組み立ての学習において、毛筆を使用した書写の指導にICTを活用する授業】

その授業で大切にされていたことを紹介します。

- ① 手書き文化の重要性を意識したこと。
- ② 新しい文字と出会ったときに既習の見方・考え方や知識・技能を働かせて自分の理想の字を書くこと(スパイラルな学習)。
- ③ 手本を漠然と見て書くのではなく、考えて書く書写へ(プログラミング思考)に意識転換を図ったこと。
- ④ 実現する手立てとして、ICT機器とシンキングツールを活用したこと。

児童は、学習した漢字の部首を上下の関係・左右の関係・垂れ・構えなどの関係に分け、それらを二次元のマトリックスを用いて分類し、各々のタブレット端末に記録していた。こうしたポートフォリオ化は、新出漢字を学習する際にも有効である。学習を可視化・データ化することは、『個別最適な学び』、『主体的で対話的で深い学び』、『仲間との協働的な学び』を実現するための有用な手立てであり、そこに切り込んでいくのが、シンキングツールを活用した指導である。ICT機器を活用することが目的ではなく、活用して書写学習の目的を達成する授業を行わなければならない。

【引用】全日本書写書道研究会(全書研) 会報一四三号(二〇二二年三月三十一日発行)

<https://grupo.jp/fileout/2e64e8ac1a2dced59441ec9547c8bce142e0937e977f84c9be783b43130ba63e/7108847.pdf>

昨年度、「始筆」でも紹介しましたが、ICTをツールとして有効に活用していくことをこれからも模索・研究していくことが必要となってきました。互いの書写作品を批評するときのロイノート活用などをしてくださっている先生方もおられます。また、是非、有効な活用方法がありましたら、書写教育研究会にも教えてください。

③【書写指導 ちよこつと支援】

道具の片付け方	
① 筆のすみをふきとる。	ボトルの水であらう。
② 余ったすみをボトルに入れる。	半紙にふきとる。
③ ボトルの水をすてる。	半紙ですずりをふきとる。
④ 書写セットに道具を入れる。	半紙をコピー用紙につつんですてる。
⑤ ボトルや作品ばさみを箱に片付ける。	
⑥ あいさつの後に手をあらう。	

道具の片付け方を黒板に掲示しておく、次に何を片付けるのが分かり、支援が必要な児童も一人で片付けができるようになりまし

この機関紙「始筆」の書体は、教科書体です。児童が目にする文字は、できるだけ正しい書体にしましょう。

★京都市小学校書写教育研究会の実践を冊子にまとめたものを

今年度も各校に一冊ずつ送付しています。ぜひ、活用ください。